

NPO法人 通信 第14号

★巻頭言

日頃より、**NPO 法人道**の活動にご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。昨年度のトピックスは、道工房の倶楽部「道」階下への移転と鎌倉美術連盟に入会させていただいたことです。障害の有無に関係のないアートというツールを使って社会とコミュニケーションをとっていくということの有効性を実感しているところでもあります。同じアートの分野で昨年度ご縁を結ばせていただいた方に**ピアニストの月足さおりさん**がおります。さおりさんは熊本県あさぎり町在住のピアニストです。12歳までしか生きられないと言われた生まれつきの脊髄空洞症という進行性の難病と闘ひながら、小学校1年生から始めたピアノでコンサートや後進の指導をされています。視力も殆ど無く、左腕で補助具を使いながら演奏をされます。最近足も動かなくなり車いすを使って生活するようになったと聞いております。そのさおりさんが作曲し左手で演奏する『雫～しずく』という曲があります。「今まで私のために流していただいたたくさんの悲しい涙、嬉しい涙。その大切な宝物である一粒一粒を音に変えて作った曲」は両手で弾くどんな曲よりも美しく悲しい曲に聴こえます。優しい音色ではあるけども「生きた証を残したい」というさおりさん自身の魂の燃焼を感じられる曲です。その**月足さおりさんのピアノリサイタルと道工房展を9月に一緒に行います。たくさんの方に聴きにきていただけたらと思います。**

平成28年 首夏 岩立実勇
